

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No. 1403

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島工業大学			科目開講 キャンパス	本学	
2. 科 目 名	正式科目名	コンピュータ図学			クラス名	
	副題				配当年次	1 年次
					受入学年	—
	旧科目名					
	学問分野	番号	31	名称	機械	
	サテライトで開講される科目の科目群			A 群	B 群	
3. 担当教員名	王 栄光（機械システム工学科 教授）					
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	前期		
6. 開講期間 曜日・時間	2018 年 4 月 9 日（月）～ 2018 年 7 月 23 日（月） 月曜日 9 : 00 ～ 10 : 30 ※7/16（祝）授業日					
個別開講日	1 回目 4/ 9	2 回目 4/16	3 回目 4/23	4 回目 5/ 7	5 回目 5/14	6 回目 5/21
	7 回目 5/28	8 回目 6/ 4	9 回目 6/ 11	10 回目 6/18	11 回目 6/25	12 回目 7/ 2
	13 回目 7/ 9	14 回目 7/16	15 回目 7/23	16 回目 /	試験日	/
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 () 2. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数 (総授業定員)	若干名 (人)		9. 定員超過時の 選考方法	なし		
10. 科目内容・ 授業計画	機械のほとんどは複数の立体の集合体であり、相互に作用し、所定の動きをする。個々の立体は多くの点・線・面で構成されている。3 次元立体の形状認識、表現、図の解析等の基礎となる図法幾何学を柱の中心として学び、次いでコンピュータを用いた作図により、平面および立体図形の自動作図の演習を行う。基礎作図および機械設計製図での学習内容との接続を考慮し、図学幾何学を通して製図学の概念を修得するとともに、コンピュータによる作図を通して CAD への導入を容易にすることを目的とする。 〔主な内容〕 (1) 図の書き方と平面図形 (2) 立体の投影・正投影法による幾何学的解析の基礎 (3) 切断相貫・展開 (4) 工学的に重要な曲面・直観的投影法 (5) コンピュータを用いた図形処理					
11. 試験・評価方法	レポート、試験等の結果によって総合的に評価する。					
12. 別途負担費用	教科書代、製図道具代					
13. その他特記事項	(1) 情報システムセンターから CAD 教室パソコン用 ID を発行する必要がある。 (2) 受入人数 : 5 名以内					
14. サテライト科目 の社会人受講について	科目等履修生（単位付与）として受け入れ				可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ				可	否